事	丰 衤	答 『	事 業	名	産業観光推進事業			担	Tage .	課 等	名	商工観光課
7	产算	算 戛	事 業	名	産業観光推進事業			当部	1	系	名	商工労働・企業立地係
亲	折規	<b>継続</b> 国分 <b>継続事業</b>							ě	電 話 番	号	0765-23-6195
1 4	F								×13	슺	計	一般会計
基	事 業 期 間 開始年度 平成29年度 終了年度 当面継続							算		款		商工費
本。	窓	目	標	名	目標3. 輝くまち			科		項		商工費
坦	-	政	策	名	政策10. 魅力発信と交流の	まちづくり		目		目		商工振興費
目言		施	策	名	施策22. 観光の振興			総合		総合計画主な事業		記載あり (評価対象)
旦	画 基本事業名 基本事業22-1. 地域資源のブランドカ向上							総合	今単	战略との関;	車	関連なし
村	根 拠 法 令							集中	プ	ランとの関	連	関連なし
7							評価	対象	:年度の重点事	業	非該当	

事業概要 市内企業を市民等に知ってもらい、認知度の向上や就職につなげることを目的に産業観光を実施する。

対象 市内事業所

「持事ない」では、活動指標のでは、では、では、対象とした産業観光のアーを開催

「意図のでは、対象を対象とした産業観光のアートを開催を表現していき、では、対象をしている。では、対象を対象とした産業観光のアートを開催を表現している。では、対象を表現している。では、対象を表現している。では、対象を表現している。では、対象を表現している。では、対象を表現している。では、対象を表現している。では、対象を表現している。では、対象を表現している。では、対象を表現している。では、対象を表現している。では、対象を表現している。では、対象を表現している。では、対象を表現している。

	活動指標名・成果指標名	単位	R4年度	R5年度		R6年度		R7年度
3		中17.	実績	実績	計画	実績	達成率	計画
	伯 ① 庄木机儿 7 人心自然	口	3	3	3	2	66. 7%	3
	動 ②							
標	成 ① 産業観光実施事業者	個所	14	14	15	8	53. 3%	9
	果② ツアー参加人数	人	80	99	80	40	50.0%	60

		区 分	単位	R4年度	R5年度		R6年度	‡		R7年度
		区分	早14	決算額	決算額	予算現額	決算額	次年度への繰越額	決算増減率	当初予算額
		事業費合計	(A) 円	123, 284	158, 440	159, 000	123, 500		-22. 1%	459, 000
		①国庫支出金	円							
4	事	財 ②県支出金	円							
	来 掛	源。③地方債	円							
F	~	訳金その他(使用料、雑入等	等) 円		31, 000	40, 000	30, 000		-3. 2%	
スト情報		⑤一般財源	円	123, 284	127, 440	119, 000	93, 500		-26.6%	459, 000
拟	人	①事務事業に携わる正規職員	数人	1	1	1	1	_	0.0%	1
1	牛	②年間所要時間	時間	300	200	200	200	_	0.0%	100
	費	③人件費 (②×@ 4,104 円)	(B) 円	1, 231, 200	820, 800	820, 800	820, 800	_	0.0%	410, 400
并	総	費 用 (A+B)	円	1, 354, 484	979, 240	979, 800	944, 300		-3.6%	869, 400

令和6年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等

8/24(土)主催:市商工観光

5 参加者 20名 取 参加企業等 4 社 組 3/8 (土) 主催:観光協会 内 参加者 20名 容 参加企業等 4 社

※例年、〇〇魚津と同時開催でツアーを行っているが、本年はありそドーム敷地内でプール建設工事のため中止。

	結果(総括)	A	A	計画どおり事業を実施で	することが適当
	匆 半 性	D	Ъ	③ 負担割合の適正化 ③ 負担割合の適正化	1 適正である         2 改善の余地あり
価	効 率 性	В	В	<ol> <li>コスト効率</li> <li>実施主体の適正化</li> </ol>	2 普通 1 適正である
				③ 上位施策への貢献度	1 高い
評	有 効 性	$\mathbf{A}$	$\mathbf{A}$	② 類似事業の有無	1 なし
6				① 目標達成度	2 目標どおり
				③ 対象の妥当性	1 妥当である
	妥 当 性	$\mathbf{A}$	$\mathbf{A}$	② 目的の妥当性	1 妥当である
				① 自治体関与の妥当性	1 妥当である
	評価の視点	R5評価	R6評価	個別評価の項目	個別評価の判定

今後	の方針
〇現状を維持	事業の拡充
事業の縮小	統合等の検討
事業の休止	終了又は廃止

## 方針の説明等

産業観光ツアーの実施は市内の産業の周知、認知度を高めることに大変効果があるが、今後としては、ツアーとして採算がとれる旅行商品として内容のブラッシュアップを図る必要がある。そうしたことから観光戦略係や観光協会、受け入れ先の企業等と販売が可能となるような内容となるよう調整を行っていく。

_	_								
	事	務事	業名	観光・物産宣伝事業			担	課 等 名	商工観光課
	予	算 事	業名	観光・物産宣伝事業			当部	係 名	観光戦略係
	新規	見・継	続区分	継続事業			署	電 話 番 号	0765–23–1025
1	事	務	区分	自治事務			予	会 計	一般会計
基	事	業	期間	開始年度 昭和40年代	終了年度	当面継続	算	款	商工費
本	総	目 1	票 名	目標3. 輝くまち			科	項	商工費
項	合	政	策 名	政策10. 魅力発信と交流のま	ちづくり		目	目	観光費
目	計	施	策 名	施策22. 観光の振興			総合	計画主な事業	記載あり(評価対象)
	画	基本	事業名	基本事業22-1. 地域資源の	ブランドカロ	総合	戦略との関連	関連あり(評価対象)	
	根	拠	法令				集中	プランとの関連	関連あり(評価対象)
	アウ	トソーシン	グ導入状況		•		評価対	象年度の重点事業	該当

9	事業概要	魚津市のみどころ(観光資源やイベントなど)や特産物等をPRすることにより、県内外からの観光客を誘致し、市全体の活性化を目指す。加えて市内のイベント開催及び観光関係諸団体の活動に対して支援を行う。
事業概要	対 象	全国民(首都圏、関西圏、中京圏の住民が主なターゲット)、観光関係団体
概要		パンフレット作成、TVや新聞、雑誌等への広告、観光協会・観光ボランティア支援等。首都圏や関西圏など大都市圏 での物販、観光PRの実施。
	意 図 (成果指標)	国内外から多くの来訪者が訪れ、宿泊することで地域経済の活性化につながる。

	活動指標名・成果指標名	単位	R4年度	R5年度		R6年度		R7年度
3	伯數拍條名·	<b>半</b> 17.	実績	実績	計画	実績	達成率	計画
指	活 ① 広告費 (新聞・テレビ等)	円	1, 540, 434	1, 471, 327	1, 600, 000	1, 133, 820	70. 9%	950, 000
	動 ② 県外出向宣伝	口	7	8	8	6	75.0%	8
標	成 ① 当年観光客入込数	人	1, 234, 775	1, 288, 633	1, 598, 000	1, 314, 550	82. 3%	1, 630, 000
	果 ② 延べ宿泊客数	人	219, 371	227, 065	307, 000	263, 200	85. 7%	314, 000
=								
	ロ 八	出任	R4年度	R5年度		R6年度		R7年度

		Б /\	単位	R4年度	R5年度		R6年度	<del>:</del> -		R7年度
		区 分	平位.	決算額	決算額	予算現額	決算額	次年度への繰越額	決算増減率	当初予算額
		事業費合計 (A)	円	27, 605, 756	11, 813, 472	12, 591, 000	11, 739, 214	0	-0.6%	11, 545, 000
		①国庫支出金	円							
4	事業	財 ②県支出金	円							
ス	来曹	源   ③地方債	円							
上	_	訳 ④その他 (使用料、雑入等)	円	22, 635, 000	7, 600, 000	7, 000, 000	7, 000, 061		-7. 9%	10, 000, 000
スト情報		⑤一般財源	円	4, 970, 756	4, 213, 472	5, 591, 000	4, 739, 153		12.5%	1, 545, 000
ŦX	人	①事務事業に携わる正規職員数	人	3	4	4	4	-	0.0%	4
	件	②年間所要時間 に	時間	900	1, 400	1, 400	1, 400	-	0.0%	1, 400
	費	③人件費 (②×@ 4,104 円) (B)	円	3, 693, 600	5, 745, 600	5, 745, 600	5, 745, 600	_	0.0%	5, 745, 600
	総	費 用 (A+B)	円	31, 299, 356	17, 559, 072	18, 336, 600	17, 484, 814	0	-0.4%	17, 290, 600

### 令和6年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等

- ・テレビや新聞・雑誌等への広告掲載、TV取材等の協力

- ・テレビや新聞・雑誌等への広告掲載、「V取材等の協力 ・観光ボランティア(登録者数24名)や蜃気楼研究会等の観光関連団体の支援等を実施 ・じゃんとこい魚津まつり(8/2~4,7)開催、補助金交付 ・よっしゃ来い!!CHOUROKUまつり(5/19)、イルミラージュUOZU(12/6~2/28)、魚津の朝市(毎月第2・4日曜日:23回開催)、えき てん(飲食店等と連携した賑わい創出事業)(8/4.10/6)のイベントに対する補助金交付 ・観光パンフレット(着地型観光パンフレットUO!NAVI)増刷20,000部

  - 蜃気楼出現週間予測の提供
  - ・イメージキャラクターの活用(ミラたん着ぐるみ貸出数14件、ミラたんデザイン使用申請許可数34件)

	評価の視点	R5評価	R6評価	個別評価の項目	個別評価の判定	今後	の方針
				① 自治体関与の妥当性	1 妥当である	〇現状を維持	事業の拡充
	妥 当 性	$\mathbf{A}$	$\mathbf{A}$	② 目的の妥当性	1 妥当である	事業の縮小	統合等の検討
				③ 対象の妥当性	1 妥当である	事業の休止	終了又は廃止
6				<ol> <li>目標達成度</li> </ol>	2 目標どおり		の説明等
評	有 効 性	$\mathbf{A}$	A	② 類似事業の有無	1 なし		よる関西圏等からの誘客、
				③ 上位施策への貢献度	1 高い		とした近隣県からの誘客な 現光PRを実施していくこ
価				① コスト効率	2 普通	とが重要と考えられる。	
I I	効 率 性	В	В	② 実施主体の適正化	1 適正である		
				③ 負担割合の適正化	1 適正である		
	結果(総括)	A	A	計画どおり事業を実施す	することが適当		

事	孫 事 業	名	食泊連携事業		担	課 等 名	商工観光課
子		名	食泊連携事業		当部	係 名	観光戦略係
新	「規・継続」	区分	継続事業		署	電 話 番 号	0765-23-1025
事	務 区	分	自治事務		子	会 카	一般会計
基事	業 期	間	開始年度 平成25年度 終了年度	算	款	商工費	
本	》 目標	名	目標3. 輝くまち		科	項	商工費
<b>语</b> 合	政策	名	政策10. 魅力発信と交流のまちづくり		目	目	観光費
目計		名	施策22. 観光の振興		総合	計画主な事業	記載あり(評価対象)
迪	基本事業	纟名	基本事業22-1. 地域資源のブランドカ	総合	戦略との関連	関連あり(評価対象)	
根	. 拠 法	令		集中	プランとの関連	関連なし	
ア	ウトソーシング導	入状況	アウトソーシング導入済( )	評価対	†象年度の重点事業	該当	

 事業概要
 魚津駅前を中心に賑やかな飲食店街と数多くある宿泊施設が立地するという観光インフラの特性を活かし、食の魅力のPRを実施する。

 対象
 市内飲食店、宿泊施設、観光客

 手(活動指標)
 魚津市観光協会、各実施主体等に対し補助又は業務を委託

 意(成果指標)
 国内外から多くの来訪者が訪れ、宿泊することで地域経済の活性化につながる。

		活動指標名・成果指標名	単位	R4年度	R5年度		R6年度		R7年度
3			- 単位	実績	実績	計画	実績	達成率	計画
指	活	① 委託費 (※R3~5指標名「負担金」)	円	2, 235, 100	2, 999, 750	2, 200, 000	2, 194, 500	99.8%	0
	動	2							
標	成	① 当年観光客入込数	人	1, 234, 775	1, 288, 633	1, 598, 000	1, 314, 550	82. 3%	1, 630, 000
	果	② 延べ宿泊客数	人	219, 371	227, 065	307, 000	263, 200	85. 7%	314, 000

		区 分	単位	R4年度	R5年度		R6年度			R7年度
		区 分	平位.	決算額	決算額	予算現額	決算額	次年度への繰越額	決算増減率	当初予算額
		事業費合計 (A)	円	5, 044, 046	2, 999, 750	2, 200, 000	2, 194, 500	0	-26.8%	0
		①国庫支出金	円	1, 117, 000	1, 499, 875	1, 000, 000	998, 250		-33.4%	
4 コ	事業	財②県支出金	円	936, 000						
ス	来曹	源。③地方債	円							
F	_	訳  ④その他(使用料、雑入等)	円				999, 000			
スト情報		⑤一般財源	円	2, 991, 046	1, 499, 875	1, 200, 000	197, 250		-86.8%	
ŦX	人	①事務事業に携わる正規職員数	人	2	1	1	1	_	0.0%	0
	件	②年間所要時間	時間	900	400	400	400	_	0.0%	0
	費	③人件費 (②×@ 4,104 円) (B)	円	3, 693, 600	1, 641, 600	1, 641, 600	1, 641, 600		0.0%	0
	総	費 用 (A+B)	円	8, 737, 646	4, 641, 350	3, 841, 600	3, 836, 100	0	-17. 3%	0

令和6年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等

- ・とやま観光推進機構と連携し制作した、市の特産品である「紅ズワイガニ」を軸とした飲食・宿泊プランを発信するLPをリニュー ,アル公開。(飲食プラン造成事業者:既存4店舗、新規3店舗)
- ・本LPへの誘導を目的としたプロモーション(WEB掲載、パンフレット2,000部作成・配布)を実施。
- ・飲食店デジタルマップの拡充。
- ・魚津漁業協同組合・富山県鮭鱒漁業協同組合・海の駅蜃気楼等と連携し、11月16・17日、2月22・23日に海の駅蜃気楼において「魚津蟹騒動」を実施し、蒸したてのカニを 1 杯3,500円で食してもらう実証実験を行い、1 日平均で約90杯の売上があった。併せて、市内店舗の鱒の寿司を販売し、PRを行った。

	結果(総括)	В	В	補助率及び上限額につい	いて見直す余地あり
				③ 負担割合の適正化	1 適正である
ТЩ	効 率 性	C	В	② 実施主体の適正化	1 適正である
価				① コスト効率	2 普通
				③ 上位施策への貢献度	1 高い
評	有 効 性	В	В	② 類似事業の有無	2 検討の余地あり
6				<ol> <li>目標達成度</li> </ol>	2 目標どおり
				③ 対象の妥当性	1 妥当である
	妥 当 性	A	A	② 目的の妥当性	1 妥当である
				① 自治体関与の妥当性	1 妥当である
	評価の視点	R5評価	R6評価	個別評価の項目	個別評価の判定

今後	の方針
〇現状を維持	事業の拡充
事業の縮小	統合等の検討
事業の休止	終了又は廃止

## 方針の説明等

魚津の食の魅力と宿泊施設数や立地の良さを生か した食泊連携事業は魚津への誘客のために重要な 要素であり、飲食店組合やホテル旅館組合等から の意見や効果等を踏まえ、引き続き、事業内容を 精査し進めるべき事業であると考える。

	事	務	事 業	名	インバウンド等推進事業			担		課 等 名	商工観光課
	予	算	事 業	名	インバウンド等推進事業			当部	í 7	係 名	観光戦略係
	新規	見・糸	継続	区分	継続事業			署	,	電話番号	0765-23-1025
1	事	務	区	分	自治事務			7		会 計	一般会計
基	事	業	期	間	開始年度 平成28年度	終了年度	当面継続	算	Ĺ	款	商工費
基本項目	総	目	標	名	目標3. 輝くまち			科		項	商工費
項	合	政	策	名	政策10. 魅力発信と交流のる	まちづくり		П		目	観光費
Ħ	計	施	策	名	施策22. 観光の振興			総	合	計画主な事業	記載あり(評価対象)
	画	基本	は事業	<b>美名</b>	基本事業22-2. 地域の魅力	り発信体制の乳	<b>整備</b>	総	合	戦略との関連	関連あり(評価対象)
	根	拠	法	令				集『	中フ	プランとの関連	関連なし
	アウ	トソーシ	/ング導	入状況				評価	i対	象年度の重点事業	該当

台湾を中心とした外国人観光客の増加を図るため、台湾などでの観光PRの実施や広告宣伝活動を実施する。また受入体制の 事業概要 整備を行う。 対 象 外国人観光客 手 段 海外現地でのPR活動数、海外に向けての宣伝活動数 (活動指標) 市内外国人延べ宿泊者数 (成果指標)

		活動指標名 • 成果指標名	単位	R4年度	R5年度		R6年度				
3		7,		実績	実績	計画	実績	達成率	計画		
指	活	① 海外現地でのPR活動数	口	1	1	1	1	100.0%	1		
	動	② 海外に向けての宣伝活動数	回	2	2	2	2	100.0%	2		
標	成	① 市内外国人延べ宿泊者数	人	739	6, 314	13, 503	11, 173	82. 7%	13, 503		
	果	2									

		F /\	単位	R4年度	R5年度		R6年度	=		R7年度
		区分	<b>平</b> 似.	決算額	決算額	予算現額	決算額	次年度への繰越額	決算増減率	当初予算額
		事業費合計 (A)	円	2, 300, 000	6, 700, 000	6, 700, 000	6, 700, 000	0	0.0%	5, 600, 000
4		①国庫支出金	円							
<b>4</b> コ	事業	財 ②県支出金	円							
ス	来曹	源   ③地方債	円							
上		訳 ④その他(使用料、雑入等)	円		4, 000, 000					
スト情報		⑤一般財源	円	2, 300, 000	2, 700, 000	6, 700, 000	6, 700, 000		148.1%	5, 600, 000
ŦX	人	①事務事業に携わる正規職員数	人	1	2	2	2	_	0.0%	2
	件	②年間所要時間 ほ	時間	300	600	600	600	_	0.0%	600
	費	③人件費 (②×@ 4,104 円) (B)	円	1, 231, 200	2, 462, 400	2, 462, 400	2, 462, 400	_	0.0%	2, 462, 400
	総	費 用 (A+B)	円	3, 531, 200	9, 162, 400	9, 162, 400	9, 162, 400	0	0.0%	8, 062, 400

### 令和6年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等

・台湾との交流・提携事業

魚津まつりへの関係者招待

〇〇魚津・JAうおづ農業祭出展(特産品販売)

新北ランタンフェスティバル参加

東部中学校と板橋国民中学校とのオンライン交流 等

- ・台湾向けホームページ管理 内容

  - ・多言語観光パンフレット(繁体字版)を増刷 ・台湾・香港向け訪日旅行情報ウェブサイトへの繁体字での観光情報掲載(R1~継続) リターゲティング広告配信の実施
  - ・多言語観光情報サイトへの掲載及び情報発信 WEB・SNSでのメディアプロモーション ・発地型多言語観光パンフレット(英語版)を新たに制作

	評価の視点	R5評価	R6評価	個別評価の項目	個別評価の判定	
	F 7 4	Δ.	Λ	① 自治体関与の妥当性	1 妥当である	
	妥 当 性	A	A	② 目的の妥当性 ③ 対象の妥当性	1 妥当である 1 妥当である	
6				① 目標達成度	2 目標どおり	
評	有 効 性	$\mathbf{A}$	A	② 類似事業の有無	1 なし	_
				③ 上位施策への貢献度	1 高い	
価				① コスト効率	2 普通	
	効 率 性	В	В	② 実施主体の適正化	2 改善の余地あり	
				③ 負担割合の適正化	1 適正である	
	結果(総括)	A	A	計画どおり事業を実施で	することが適当	

今後	の方針
〇現状を維持	事業の拡充
事業の縮小	統合等の検討
事業の休止	終了又は廃止

# 方針の説明等

当初は台湾にターゲットを絞ってインバウンド事業を実施していたが、台湾を中心としながら他国からも幅にく誘客のWSを表現した。 やPR活動のほか、SNSを活用した情報発信など効 果的な取組みも重要である。令和5年度から実施 している台湾との交流・提携事業について、継続 的に交流を行える仕組みの構築が重要。

事	事務事業名	受入体制整備事業	担	課 等 名	商工観光課
于	予算事業名	受入体制整備事業	当部	係 名	観光戦略係
亲	折規・継続区分	継続事業	署	電 話 番 号	0765-23-1025
4 事	事務 区 分	自治事務	予	会 計	一般会計
基	事業期間	開始年度 平成元年以前 終了年度 当面継続	算	款	商工費
本。	8 目標名	目標3. 輝くまち	科	項	商工費
년 남	政 策 名	政策10. 魅力発信と交流のまちづくり	目	目	観光費
自言		施策22. 観光の振興	総合	計画主な事業	記載あり (評価対象)
画	基本事業名	基本事業22-3. イベント・受け入れ体制の充実	総合	戦略との関連	関連あり(評価対象)
相	艮 拠 法 令		集中	プランとの関連	関連なし
ア	ウトソーシング導入状況	アウトソーシング導入済()	評価対	象年度の重点事業	該当

本市への来訪者に対する満足度向上のため、観光スポットでの観光案内、清掃等を行うとともに、観光案内看板の管理のほか、誘客宣伝事 業及び観光案内所業務の充実を図るため、関係団体に対して支援を行う。 事業概要 また、本市の観光施策について中心的な役割を担う組織「(仮称)魚津市観光地域づくり法人(DMO)」の設立を目指し、市観光協会など関係事業者と組織のあり方、事業計画等について検討を行う。 対 象 観光施設、宿泊施設 海の駅蜃気楼周辺での観光案内、清掃委託業務。観光案内所業務等への補助。(仮称)魚津市観光地域づくり法人(DMO)設立準備 会((仮称)魚津DMO・まちづくり株式会社設立準備員会に変更)、シンポジウムやワークショップの開催など。 手 段 (活動指標) 国内外から多くの来訪者が訪れ、宿泊することで地域経済の活性化につながる。 (成果指標)

		活動指標名・成果指標名	単位	R4年度	R5年度		R7年度		
3		位 期 拍 保 名 ・		実績	実績	計画	実績	達成率	計画
指	活	① 魚津市観光協会運営費補助金	円	15, 000, 000	15, 000, 000	15, 000, 000	15, 000, 000	100.0%	3, 287, 000
	動	② しんきろうロード交通整理・清掃委託料	円	1, 297, 040	1, 360, 400	1, 483, 000	1, 483, 000	100.0%	1, 485, 000
標	成	① 当年観光客入込数	人	1, 234, 775	1, 288, 633	1, 598, 000	1, 314, 550	82. 3%	1, 630, 000
	果	② 延べ宿泊客数	人	219, 371	227, 065	307, 000	263, 200	85. 7%	314, 000

		区分	単位	R4年度	R5年度		R6年度	Ē		R7年度
		区 分	半业	決算額	決算額	予算現額	決算額	次年度への繰越額	決算増減率	当初予算額
	事	事業費合計 (A)	円	25, 520, 483	108, 015, 327	88, 719, 000	82, 151, 698	0	-23.9%	12, 439, 000
		①国庫支出金	円	8, 181, 700	6, 334, 500	6, 300, 000	6, 256, 249		-1.2%	
4 コ ラ	^	2県支出金	円	478, 000	14, 558, 000	15, 109, 000	14, 248, 833		-2.1%	83, 000
スマ		③地方債	円	5, 700, 000						
F	言.	R ④その他(使用料、雑入等)	円	560, 000	10, 300, 000	42, 890, 000	37, 085, 000		260.0%	j
スト情報		⑤一般財源	円	10, 600, 783	76, 822, 827	24, 420, 000	24, 561, 616		-68.0%	12, 356, 000
ŦX /	(]	事務事業に携わる正規職員数	人	3	4	4	4	_	0.0%	4
4		2)年間所要時間	時間	2, 000	2, 500	2, 500	2, 500	_	0.0%	2, 500
萝		③人件費 (②×@ 4,104 円) (B)	円	8, 208, 000	10, 260, 000	10, 260, 000	10, 260, 000	_	0.0%	10, 260, 000
糸	200	費 用 (A+B)	円	33, 728, 483	118, 275, 327	98, 979, 000	92, 411, 698	0	-21.9%	22, 699, 000

### 令和6年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等

- 第3次魚津市観光振興計画の進捗管理(推進協議会1回、庁内検討会1回)
- ・観光推進体制組織強化事業(設立準備委員会4回、シンポジウム・セミナー各1回、ワークショップ4回)
- ・観光専門人材派遣事業(計8回(オンライン5回含む)) ・蜃気楼展望地での観光案内説明員設置、清掃委託

- ・魚津市観光協会、魚津駅観光案内所(利用者13,642人)運営補助 ・魅力的な旅行商品・サービス開発事業(セミナー2回、商品8つ造成、モデルコース2つ造成、Meta広告3/7~16実施)
  - ・外国語観光サインの整備(新設1か所、改修4か所)
  - ・地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業(宿泊施設1件・観光施設1件の改修、廃屋撤去1件への補助)

	評価の視点	R5評価	R6評価	個別評価の項目	個別評価の判定		二	の方針					
				① 自治体関与の妥当性	1 妥当である		〇現状を維持	事業の拡充					
	妥 当 性	$\mathbf{A}$	A	② 目的の妥当性	1 妥当である		事業の縮小	統合等の検討					
			③ 対象の妥当性 1 妥当である		事業の休止	終了又は廃止							
6				<ol> <li>目標達成度</li> </ol>	2 目標どおり		方針(	の説明等					
評	有 効 性	$\mathbf{A}$	A	② 類似事業の有無	1 なし			今後の観光振興にとっても					
				③ 上位施策への貢献度	1 高い		重要であることから、民間を含めた支援体制を強めていくことが必要である。R4年度からの第3次  観光振興計画の進捗状況を点検していく必要があ						
佃				① コスト効率	2 普通								
,,,,,	効 率 性	В	В	В	В	В	В	В	② 実施主体の適正化	1 適正である		る。	
				③ 負担割合の適正化	1 適正である								
	結果(総括)	A	A	計画どおり事業を実施す	することが適当								

=	丰 彩	隆 耳	1 学	= 名	サイクリングを活用した賑れ	い創出事業		担	課等名	商工観光課
					サイクリングを活用した賑れ			当		観光戦略係
_	新規・継続区分継続事業							部署		0765-23-1025
_ <u>-</u>	F	務	区	分	自治事務			子	会 計	一般会計
基基	F	業	期	間	開始年度 令和4年度	終了年度	当面継続	算	款	商工費
本。	公	目	標	名	目標3. 輝くまち			科	項	商工費
	→	政	策	名	政策10. 魅力発信と交流のま	ちづくり		目	目	観光費
Ħ		施	策	名	施策22. 観光の振興			総合	計画主な事業	記載なし
<u>[E</u>	画 基本事業名 基本事業22-3. イベント・受け入れ体制の充実							総合	戦略との関連	関連あり(評価対象)
木	根拠法令							集中	集中プランとの関連 <b>関連なし</b>	
7								評価対	象年度の重点事	該当

 事業概要
 富山湾岸サイクリングコースがナショナルサイクルルートに指定されたほか、市内周遊ルートが整備されたことから、気軽にサイクリングを楽しめるよう環境整備を行うとともに、市内サイクリングコースの利用促進に向けた事業を実施する。

 対象
 全国や国外、本市を訪れる観光客

 手段(活動指標)
 レンタサイクルの整備・管理、パンフレットやWeb等を活用したサイクリング情報の発信

 意(成果指標)
 県外からの観光客の増加および新川地域での観光客の滞在時間の増加

	活動指標名・成果指標名	単位	R4年度	R5年度		R7年度		
3		中174	実績	実績	計画	実績	達成率	計画
指	活 ① レンタサイクルステーション設置数	箇所	5	5	5	4	80.0%	4
	動 ② レンタサイクル事業委託金額	円	548, 000	547, 400	635, 000	625, 000	98. 4%	628, 000
標	成 ① レンタサイクル利用台数	台	1, 210	1, 208	1, 500	1, 590	106. 0%	1, 600
	果② レンタサイクル利用料収入	円	533, 400	586, 700	937, 000	838, 970	89.5%	988, 000

		区 分	単位	R4年度	R5年度		R6年度				
		区分	中亚	決算額	決算額	予算現額	決算額	次年度への繰越額	決算増減率	当初予算額	
	l-th-	事業費合計 (A)	円	6, 889, 764	2, 643, 900	1, 549, 000	1, 397, 685	0	-47.1%	1, 416, 000	
	. [	①国庫支出金	円	3, 356, 000	948, 750						
4 コ ½	手上	財 ②県支出金	円	500, 000	500, 000						
スマ	長月	③地方債	円								
<u>}</u>	- 1	訳 ④その他(使用料、雑入等)	円		986, 700	937, 000	838, 970		-15.0%	988, 000	
スト情報		⑤一般財源	円	3, 033, 764	208, 450	612, 000	558, 715		168.0%	428, 000	
ŦX /	(	①事務事業に携わる正規職員数	人	2	1	1	1	_	0.0%	1	
4	# (	②年間所要時間	時間	600	800	800	800	-	0.0%	800	
星	₽ (	③人件費 (②×@ 4,104 円) (B)	円	2, 462, 400	3, 283, 200	3, 283, 200	3, 283, 200	_	0.0%	3, 283, 200	
糸	忩	費 用 (A+B)	円	9, 352, 164	5, 927, 100	4, 832, 200	4, 680, 885	0	-21.0%	4, 699, 200	

令和6年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等

・レンタサイクル「みらくる」(54台)の貸出取扱委託、維持管理

| (貸出ステーション4カ所:魚津駅観光案内所、海の駅蜃気楼、金太郎温泉、片貝山ノ守キャンプ場)

・専用ホームページの維持管理

・経年劣化により、バッテリー(10個)の交換

	評価の視点	R5評価	R6評価	個別評価の項目	個別評価の判定
				① 自治体関与の妥当性	1 妥当である
	妥 当 性	$\mathbf{A}$	$\mathbf{A}$	② 目的の妥当性	1 妥当である
				③ 対象の妥当性	1 妥当である
6				<ol> <li>目標達成度</li> </ol>	2 目標どおり
評	有 効 性	В		② 類似事業の有無	1 なし
				③ 上位施策への貢献度	2 普通
価				① コスト効率	2 普通
IIII	効 率 性	В	В	② 実施主体の適正化	2 改善の余地あり
				③ 負担割合の適正化	1 適正である
	結果(総括)	В	В	事業の進め方・内容につ	ついて改善の余地あり

今後	の方針
〇現状を維持	事業の拡充
事業の縮小	統合等の検討
事業の休止	終了又は廃止

## 方針の説明等

富山湾岸サイクリングコースのナショナルサイク ルルート指定をきっかけとしたサイクルツーリズ ムの推進は、賑わい創出及び交流人口の増加に資 するものであり、レンタサイクル事業の実施体制 を含め、効果的な事業実施を検討しながら進めて いくべき事業であると考える。

	#	₹ <i>k</i> r =		4 h	<b>大块妇以连维</b> 事类			40	фш <i>М</i> -	去 <del>-</del> 年 火 元	
	事	務	予 养	€名	広域観光連携事業			担	課 等 名	商工観光課	
	予	算	事 業	钅名	広域観光連携事業			当部	係 名	観光戦略係	
	新規	見・糸	継続	区分	継続事業			署	電 話 番 号	0765–23–1025	
1	事	務	区	分	自治事務			予	会 計	一般会計	
基	事	業	期	間	開始年度 平成11年度	終了年度	当面継続	算科目	款	商工費	
	総	目	標	名	目標3. 輝くまち				項	商工費	
本項目	合	政	策	名	政策10. 魅力発信と交流のまた	ちづくり			目	観光費	
Ħ	ΒI	施	策	名	施策22. 観光の振興			+		記載あり(評価対象)	
	画	基本	事業	<b>美名</b>	基本事業22-4. 広域観光ネッ	ットワーク <i>0</i>	D振興			関連あり(評価対象)	
	根	拠	法	令				集中に	集中プランとの関連 関連なし		
	アウ	トソーシ	ング導	入状況	·		<u> </u>	評価対	象年度の重点事業	該当	

富山県、近隣の自治体、民間事業者、とやま観光推進機構、富山湾・黒部峡谷・越中にいかわ観光圏協議会と連携して、国外や 事業概要 県外へ観光客の誘客に向けた効果的なPRを行う。 対 象 全国や国外、本市を訪れる観光客 手 段 首都圏等県外・国外での観光宣伝活動。地元や首都圏等での観光イベントの開催、WEB等を活用したプロモーション (活動指標) 県外からの観光客の増加および新川地域での観光客の滞在時間の増加 (成果指標)

	活動指標名・成果指標名		単位	R4年度	R5年度		R7年度		
3		位 期 拍 保 名 ・	<b>半</b> 业	実績実績		計画	実績	達成率	計画
指	活	① 北陸国際観光テーマ地区協議会負担金額	円	100, 000	100, 000	100, 000	100, 000	100.0%	100, 000
	動	② 立山黒部自然環境保全·国際観光促進協議会負担金額	円	50, 000	50, 000	50, 000	50, 000	100.0%	50, 000
標	成	① 県外観光客の入込数	人	241, 725	282, 657	350, 000	289, 725	82. 8%	358, 600
	果	2							

			Γ /\	単位	R4年度	R5年度		R6年度				
		区分			決算額	決算額	予算現額	決算額	次年度への繰越額	決算増減率	当初予算額	
		事業	(A)	円	6, 564, 480	6, 198, 880	6, 738, 000	5, 805, 000	0	-6.4%	4, 829, 000	
			①国庫支出金	円	1, 381, 000	1, 385, 000	1, 866, 000	1, 577, 000		13.9%	837, 000	
4 コ	事	財源	②県支出金	円								
ス	事業費	源 (	③地方債	円								
	_	訳(	④その他(使用料、雑入等)	円	1, 000, 000							
情 報 -			⑤一般財源	円	4, 183, 480	4, 813, 880	4, 872, 000	4, 228, 000		-12. 2%	3, 992, 000	
ŦX	人	①事	再務事業に携わる正規職員数	人	3	4	4	4		0.0%	4	
	件	②年	間所要時間	時間	1, 600	2, 100	2, 100	2, 100		0.0%	2, 100	
	費	③人	、件費 (②×@ 4,104 円) (B)	円	6, 566, 400	8, 618, 400	8, 618, 400	8, 618, 400		0.0%	8, 618, 400	
Ì	総	費	用 (A+B)	円	13, 130, 880	14, 817, 280	15, 356, 400	14, 423, 400	0	-2. 7%	13, 447, 400	

## 令和6年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等

- ・にいかわ観光圏協議会事業への参画(R6.6.27定時社員総会、負担金拠出、国内外でのプロモーション活動(9/26~29ツーリズムEXPO (東京ビックサイト) 商談14社、1/25~26イオンモール松本出向宣伝、10/1~5台湾セールスコール10社、11/19~23シンガポールセ-
- ルスコール12社)、情報発信) ・北陸デスティネーションキャンペーン事業(にいかわ観光圏協議会と連携しイベントへの参画(10/5.6オープニングイベント(加賀)、11/3.4食のイベント(氷見))、メディアへのプロモーション活動 ・北陸新幹線敦賀延伸に伴う魚津市観光プロモーション業務の実施(3/8モニターツアー12名)
- - ・とやま観光推進機構との連携事業(負担金拠出、日本版DMOとしての活動・新旅行造成市町村タイアップ事業の実施)
  - ・立山黒部自然環境保全・国際観光促進協議会、北陸国際観光テーマ地区協議会、美しい富山湾クラブ、山・鉾・屋台行事観光推進 ネットワークに参画・協力

  - ・富山湾岸サイクリング2024 (開催日: R6.4.21、メイン会場: 氷見市) ・にいかわ観光圏協議会 (事務局: 黒部市) と新川地域観光開発協議会 (事務局: 魚津市) について組織のあり方を検討し、令和6年 5月28日の総会をもって、新川地域観光開発協議会を発展的に解散し、担ってきた事業を観光圏へ引き継ぐ。

	評価の視点	R5評価	R6評価	個別評価の項目	個別評価の判定		
				① 自治体関与の妥当性	1 妥当である		
	妥 当 性	$\mathbf{A}$	A	② 目的の妥当性	1 妥当である		
				③ 対象の妥当性	1 妥当である		
6				<ol> <li>目標達成度</li> </ol>	2 目標どおり		
評	有 効 性	$\mathbf{A}$	A	② 類似事業の有無	1 なし		
				③ 上位施策への貢献度	1 高い		
価				① コスト効率	1 高い		
llmt	効 率 性	$\mathbf{A}$	A	② 実施主体の適正化	1 適正である		
				③ 負担割合の適正化	1 適正である		
	結果(総括) <b>A A</b>		計画どおり事業を実施することが適当				

今後	その方針
〇現状を維持	事業の拡充
事業の縮小	統合等の検討
事業の休止	終了又は廃止

## 方針の説明等

観光客の動線は広域化しており、スケールメリッ トを生かした様々な連携が必要不可欠である。 市、県及び県を超えた事業連携や、民間事業者と の連携を進めていくことも重要であり、より効果 的な取り組みを検討するべきである。